

## eGFR が 2 年連続で低下する者への対応について

1. 目的

糖尿病性腎症の重症化を予防するためには、腎機能が低下している者を透析導入ハイリスク群と位置付けて、早急に医療に結びつけることも必要といわれている。

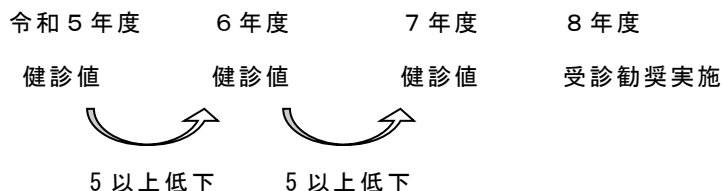
そこで、腎機能の状態を把握するための検査値である eGFR が 2 年連続で低下する者を抽出して、医科医療機関へ早い段階から結びつけるとともに、糖尿病性腎症に係る病態の普及啓発をすることで、糖尿病性腎症の改善を図ることを目的に試行で取組を実施するものである。

なお、当該取組は、埼玉糖尿病対策推進会議からの助言により実施するものである。

2. 取組の対象者

受診勧奨対象者のうち、実施年度の前年度から過去 3 年間の健診値（eGFR）について、2 年連続で毎年 5 以上低下している者

※参考 令和 8 年度の場合

3. 取組の実施方法

医療へ結びつけることを優先するため、強めの受診勧奨の対象者とする。

1 回目                                      文書による勧奨、医療専門職による電話勧奨

未受診の場合（2 回目）      医療専門職による電話勧奨、文書による勧奨は  
市町村判断による